

## アジアクエストと大分トリニータが 地域イノベーションパートナー契約を締結 IoT スタジアム計画を実施

IoTプラットフォーム『beaconnect plus (ビーコネクト プラス)』を提供するアジアクエスト株式会社(本社所在地: 東京都千代田区飯田橋 代表取締役: 桃井純)は、プロサッカークラブ『大分トリニータ』を運営する株式会社大分フットボールクラブ(本社所在地: 大分県大分市大字横尾 代表取締役: 榎徹)と提携し、IoT スタジアム計画が始動します。



### ■ 地域イノベーションパートナー契約を締結

アジアクエストは昨年、大分トリニータアプリ『選手のレア写真を集めちよくれ! ラリー』をリリースしました。さらに今回、先進的なIT技術を用いた地域イノベーションを目的に、アジアクエストと大分トリニータが地域イノベーションパートナー契約を結びました。2019年は一年を通して、アジアクエストの持つIoT技術の実施・検証をスタジアムで実施していきます。

『選手のレア写真を集めちよくれ! ラリー』についてのプレスリリースはこちら

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000027.000019319.html>

アジアクエストはIoTやAIといった先進的な技術を用いたサービスを展開しており、2018年には大分県別府市に「別府Lab」を開設しました。大分県の進める大分県版第4次産業革命“OITA4.0”と連携し、国内や世界で先駆けとなる実例を生み出していくことを目標としています。今後も当社事業の発展を通じて、「雇用創出」「高度IT人材の育成」に取り組み、大分県並びに別府市の振興のために尽力します。

### ■ スタッフもファンもIoT技術に触れられる『IoTスタジアム計画』とは

地域イノベーションパートナーとして進めているプロジェクトの一つが『IoTスタジアム計画』です。

IoT技術を利用してスタッフの手助けをしたり、ファンの方にIoT技術への興味をもってもらったりすることを目的に、大分トリニータスタッフ向け、ファン向けの2つの視点でプロジェクトを進めていきます。

スタッフがSmart CUBE Dialを携帯して作業をすることで、作業時間を記録、可視化します。これにより、スタッフが何の作業にどのくらいの時間を費やしているのかがひと目でわかるようになります。より時間がかかっている作業を把握でき、無駄を省くことにも繋がります。その他、トイレの待ち行列の長さの計測や、ゴミ箱の中身の量をIoT Smart-eyeシリーズを活用して計測し、ゴミが溢れる前に回収すること等を検討しています。

また、ファンの方向けには、実際にIoT技術に触れて楽しむ事ができるブース等も予定しております。子供から大人まで、最新の技術に触れられる場所を提供することで、ITへの興味を引き出します。

## 【IoT共創プロジェクトに関するお問い合わせ先】

アジアクエスト株式会社 宮崎 (ミヤザキ)

TEL : (03) 6261-2701

e-mail : [pressrelease@asia-quest.jp](mailto:pressrelease@asia-quest.jp)

URL : <https://www.asia-quest.jp/>